

Vol.221

病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

かけはし



理念

すべては患者様と
地域社会のために

発行責任者 病院長 松本 健



糖尿病短期入院の勧め

病院長 内科
松本 健

皆さん、新型コロナウイルスのワクチンは接種されましたか。ワクチン接種時、基礎疾患のある方は早めに注射できましたが、その基礎疾患の中に糖尿病があったことはご存じだと思います。糖尿病はコントロールされていないと抵抗力が落ち、新型コロナウイルスの様な感染症にかかりやすくなるからです。また、一旦感染すると治りにくくなるからという理由もあります。

さて現在我が国で糖尿病の方は1000万人以上と急増しています。1955年頃は数10万人でしたので、本当に多くの方がかかる病気になってしまいました。一方、糖尿病は体の中のインスリンという血糖を下げるホルモンが不足することが原因の一つで、それを補うためにインスリンを注射するので、インスリンはカナダのトロントで発見され、今年で丁度100年になり、その後様々な改良が加えられてきました。

また、飲み薬は現在9種類あり個人の病態に合わせて選ぶことができるようになりました。私が医師になった頃は1種類しかなく、しかも低血糖の危険が高かったので患者さんは大変でした。一方GLP-1製剤という新たな注射薬も使用できるようになり、本当に治療の幅が広がりました。しかしながら基本は食事と運動であることに変わりはなく、特に食事療法が大変重要なのは今も昔も変わりません。

入院して食事療法を開始しただけで血糖が改善することはしばしば見受けられます。インスリンや内服治療をされている方は家と同じ量を使っていると、薬が効きすぎて低血糖になってしまうこともあります。従って血糖コントロールの悪い方は、一度入院して血糖を良い状態にすることが大事になります。それが長い目でみると合併症を抑えることにつながるのです。

そこで当院では1週間或いは2週間という期間を決めて入院して頂くコースを作りました。入院中に血糖を管理するとともに糖尿病という病気を理解し、食事療法の感覚も学んで頂き、また合併症に関連する簡便な検査も行います。1～2週間の入院はその時は苦痛に感じられるかもしれませんが、入院により血糖管理がうまくいけば、その後10年、数10年と合併症をおさえることができる可能性が高くなりますので、その方が有意義な人生を歩むことができるのではないのでしょうか。是非、短期入院をして良いコントロールを目指しましょう。



お知らせ

年末年始の開院日のご案内

12月28日(火) → 通常通り開院

12月29日(水)

⇒ 休院

1月4日(火)

1月5日(水) → 以降、通常通り開院

※12月31日(金) 外科救急当番日

1月3日(月) 内科救急当番日

お問い合わせ先

内科受付

078-672-2619 (外線)
863-22619 (内線)

お問い合わせ先

(病院代表)

078-671-7705

(地域医療連携室)

078-652-8271